

図1: 子牛疾病予防プログラム

(例)

調査対象:全和牛繁殖農家(8戸)
※母牛5頭以上飼養

調査方法:右表7項目を聞き取り

○(2点):必ず実施

△(1点):実施しないことがある

×(0点):実施していない

実施率(%)

(合計点数/14点) × 100

	聞き取り項目	実施状況
①	初乳製剤	○(2点)
②	ビタミン剤	△(1点)
③	トルトラズリル製剤	×(0点)
④	マクロライド系抗生剤	○(2点)
⑤	イベルメクチン (生後1か月)	○(2点)
⑥	イベルメクチン (生後3.5~4か月)	△(1点)
⑦	牛5種混合生ワクチン	○(2点)
	実施率	71% (10/14)

図2:プログラム実施状況調査(実施率)

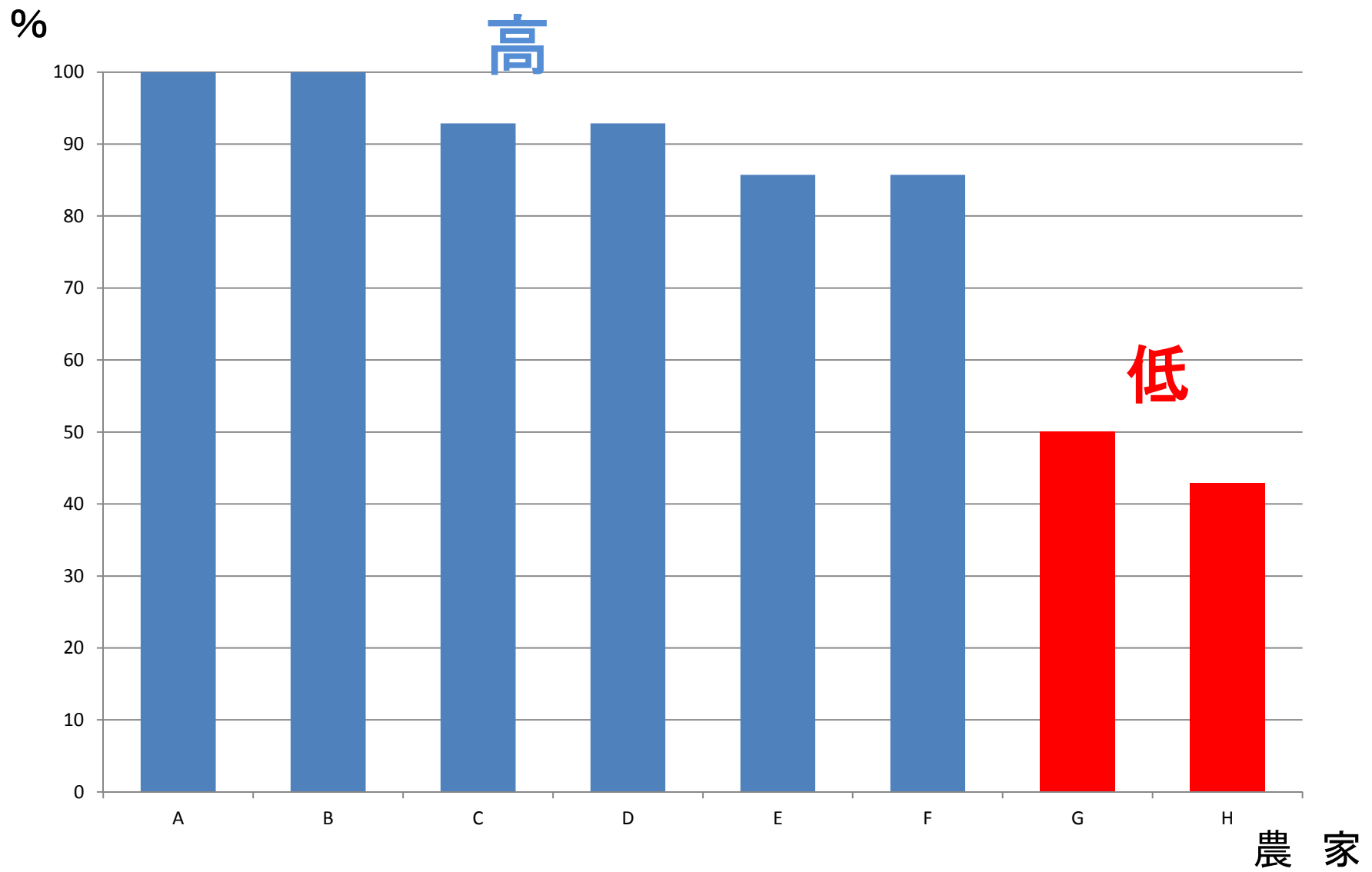


図3: プログラム実施率 結果

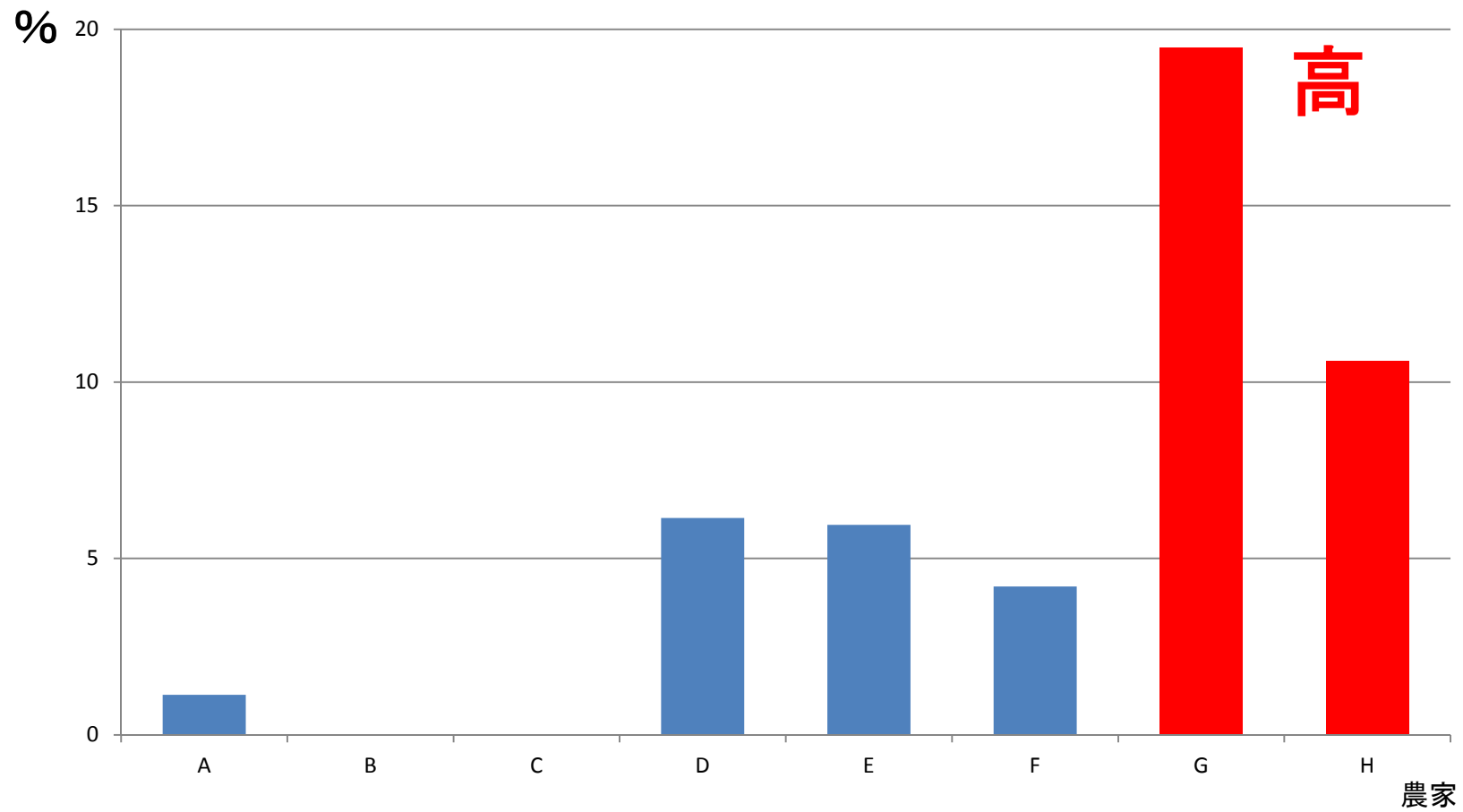


図4:各農家の腸炎の発生率

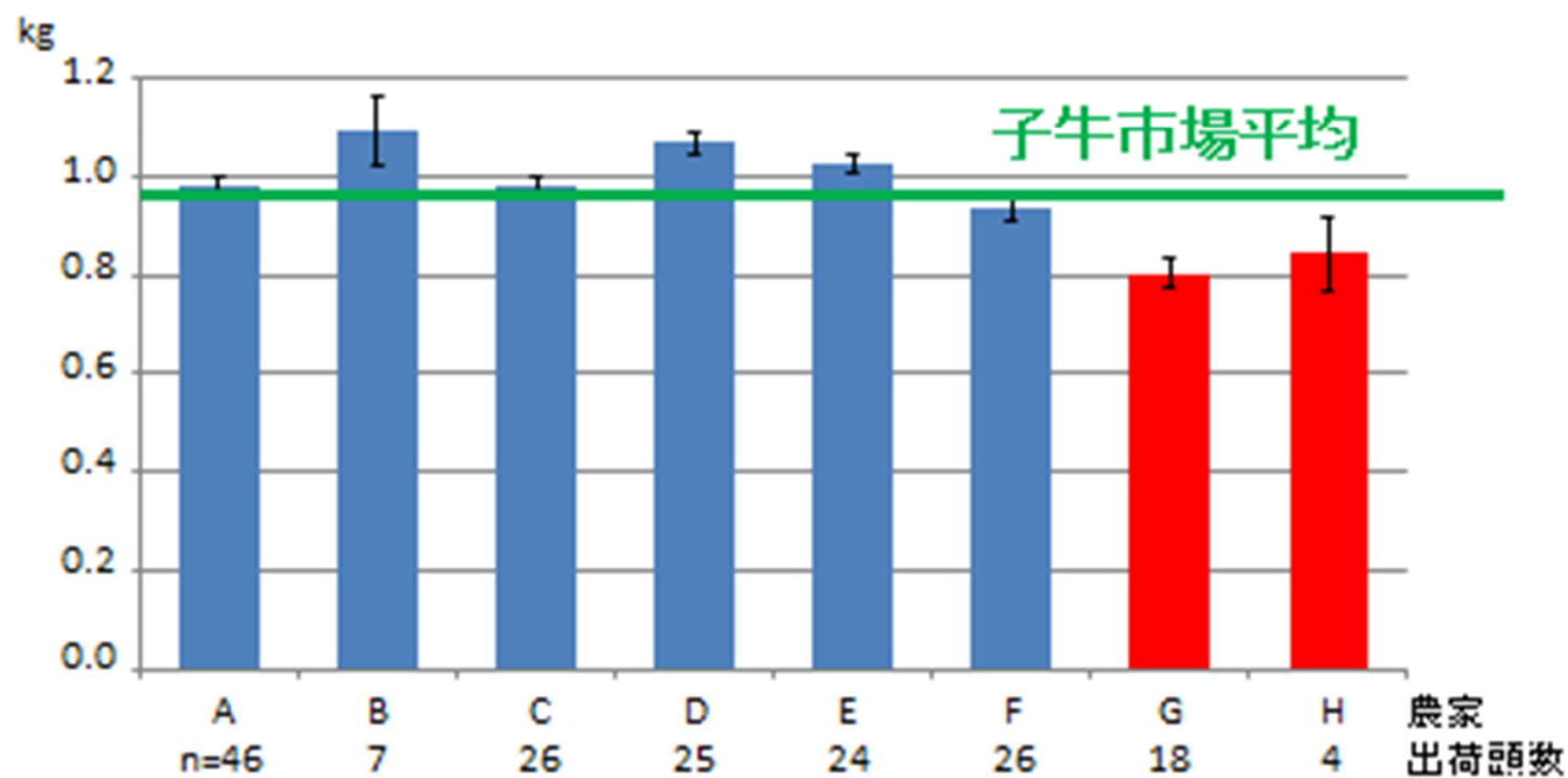


図5:子牛市場成績調査結果(日齢体重)

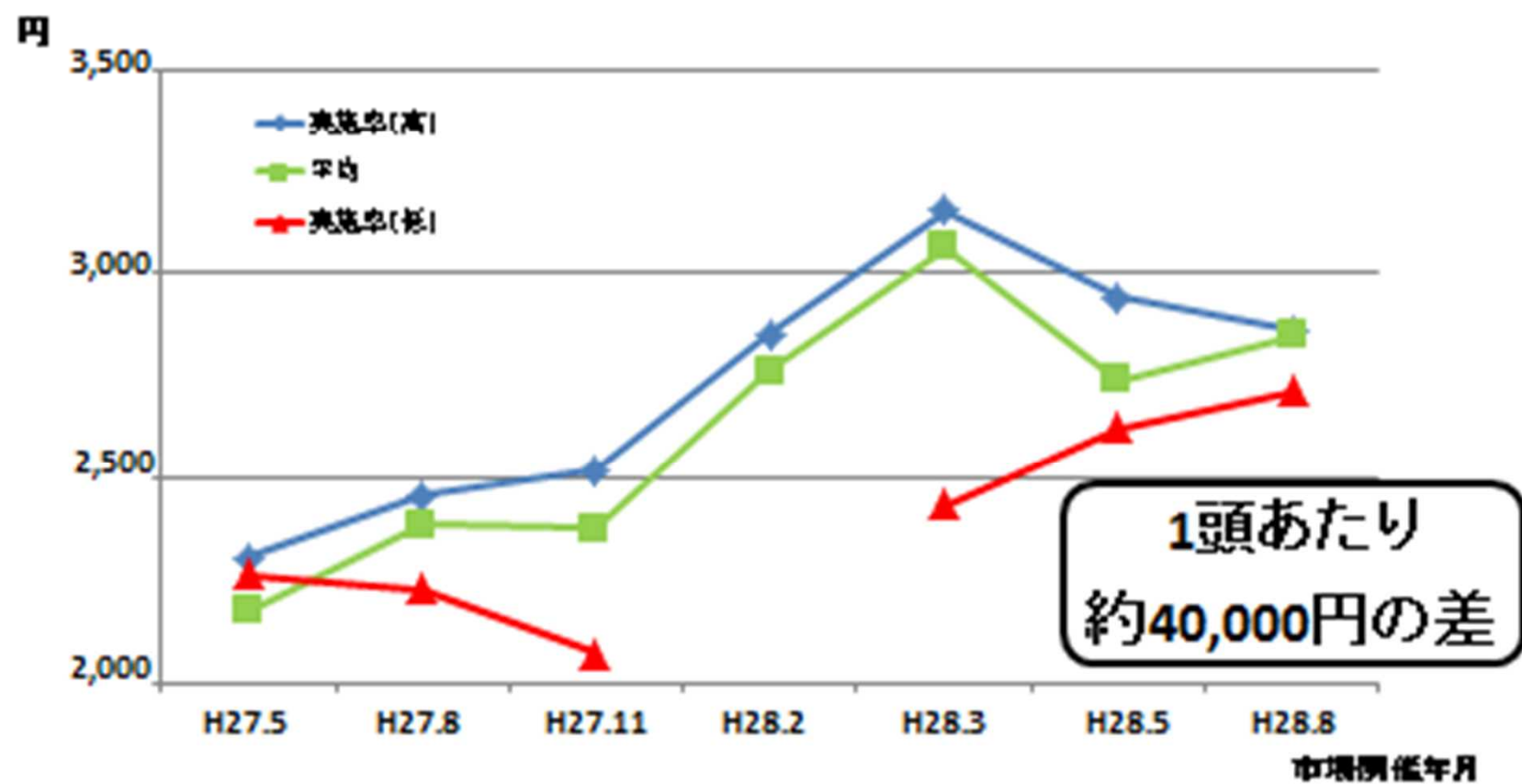


図6: 子牛市場成績調査結果(kg単価)

対象：全農家（8戸）

目的：確実性の向上

対策：**チェック表**の作成、配布し使用を確認

<チェック表記入例>

名号	♂ ♀	耳標	生年月日	0 か月齢	月/日	0. 5 か月齢	月/日	1 か月齢	月/日	3. 5～4 か月齢	月/日
北紀	♂	12345 67890	28.10.2	初乳製剤	10/2	トルトラズリル製剤	10/16	イベルメクチン	11/2	イベルメクチン	
				ビタミン剤	10/2	マクロライド系抗生剤	10/16	ビタミン剤	11/2	牛5種混合生ワクチン	
				初乳製剤		トルトラズリル製剤		イベルメクチン		イベルメクチン	
				ビタミン剤		マクロライド系抗生剤		ビタミン剤		牛5種混合生ワクチン	

図7：チェック表

対象：全農家（8戸）

目的：確実性の向上、作業の効率化

対策：プログラム作業セット



図8：作業セット

プログラム実施率が向上

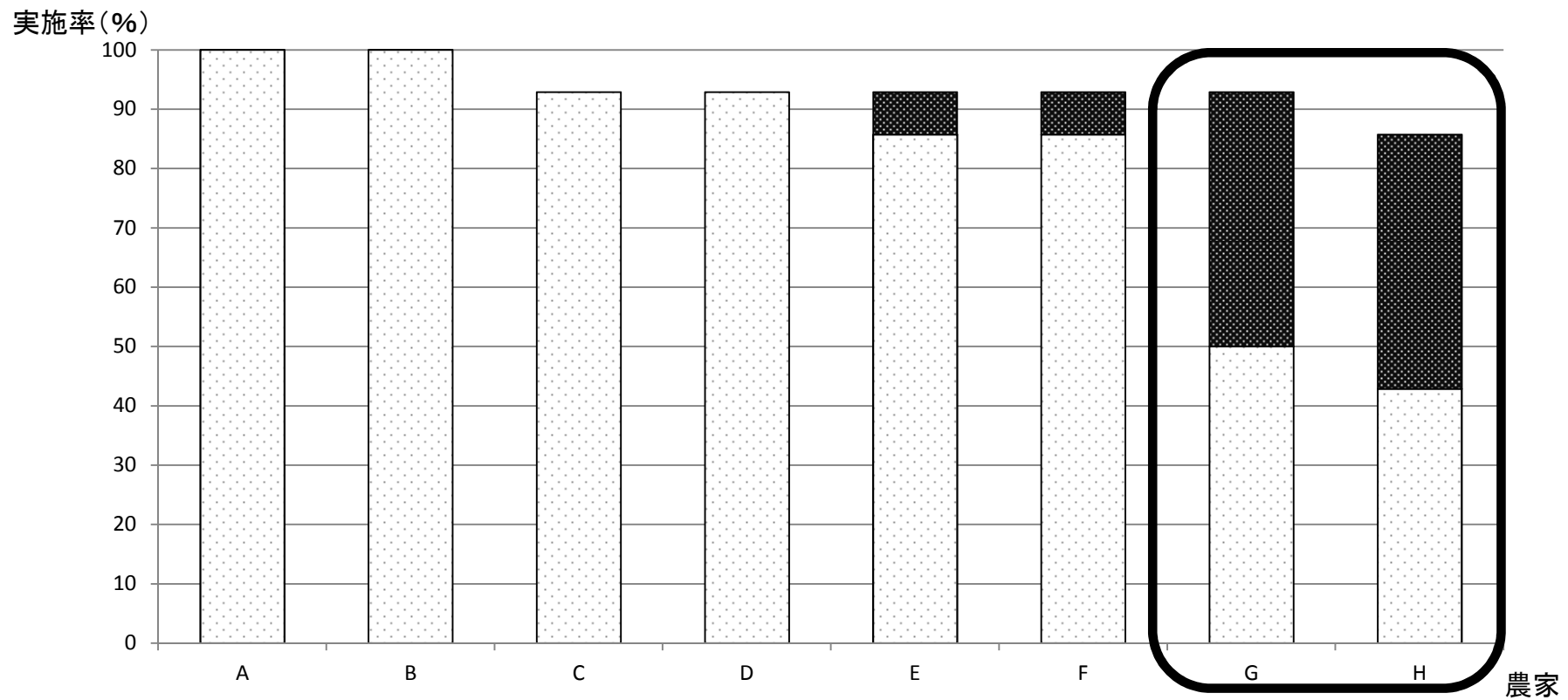


図9:プログラム実施率向上